



<教育・保育理念>

受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぱい
じぶんらしく
まっすぐに

社会福祉法人 市島福社会
認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こども園HP



「変わりゆく「常識」」

常識が変わる：ジェネレーションギャップという言葉が用いられる時もあります。お互いに知っている事をうまく共有していけると良いのでしょうか。

虫歯はうつる!?

実は生まれたばかりの赤ちゃんには虫歯菌はいません。ではいつ頃、どうやって虫歯ができていくのでしょうか。

虫歯は虫歯菌から作られます。虫歯自体がうつることはありませんが、虫歯の原因となる『虫歯菌』が人から人へうつることが分かっています。虫歯菌は硬い面にくっつく特徴があり、大きくて溝が深い乳歯の奥歯が生えてくる1歳半頃から3歳頃が一番感染しやすい時期だと言われています。そのうちでも2歳までの時期は感染に大きな影響を及ぼすといわれています。2歳までに感染した場合、その後の虫歯の重症度が高くなるそうです。虫歯の感染時期が遅ければ遅いほど、その後の虫歯予防がとて楽になります。まずは2歳までに感染させないことが大切です。

どうやって感染するの?

虫歯菌は唾液からうつると言われています。例えばお母さんのお口に虫歯菌が多い場合で、噛み与えをしたり、スプーンや箸と一緒に使ったりすると虫歯菌が子どものお口に移ってしまいます。

虫歯菌は基本的には家族内で感染します。母親だけでなく、家族みんなからうつる可能性があります。例えば養育者が祖母であれば祖母のお口の中の状態が影響しやすいです。最近では父親の育児参加も当たり前となってきました。子どもを育てている人のお口の虫歯菌が多ければ多い程、うつりやすいと言われています。まずはしっかり歯磨きをする事が大事ですが、家族で子どもへの虫歯菌の感染予防について考える事も大切になりたいですね。

※参考記事 歯の知りたい! 予防と知識

仕上げ磨きをしてもらってピカピカ!



しっかり歯磨きしているよ!



倉橋惣三の言葉

日かげ



日なたがなければ子どもは生きない。
しかしまた、日なたばかりでも子どもは生きられない。
日なたに生き、日かげにかばわれて生きる子どもではある。
わたしたちも、子どものために、一ぱいの日なたとなると共に、よき日かげにもなつてやりたいものだ。

倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

